

決算・業績予想ダイジェスト

2023年度第1四半期決算

増収・増益（2019年度以来4年ぶり）

- 売上高は、電気料金見直しによる小売収入の増加や燃料費調整額の増加による影響
- 経常利益は、電気料金見直しによる小売収入の増加や、燃料費調整制度のタイムラグ影響

2023年度業績予想および配当予想

売上高 **3兆200億円**

- 電気料金見直しによる小売収入の増加や、市場単価低下に伴う卸売収入の減少など

経常利益 **2,000億円**

- 電気料金見直しによる小売収入の増加、効率化の実施、燃料費調整制度のタイムラグ影響など

配当予想 **中間5円・期末10円**

- **売上高** **6,335億円**（前年同期に比べ752億円の増）
 …電気料金見直しによる小売収入の増や燃料費調整額の増など。
- **経常利益** **1,130億円**（前年同期に比べ1,417億円の増）
 …電気料金見直しによる小売収入の増、燃料価格の低下による燃料費調整制度のタイムラグ影響による大幅な増など。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**
791億円（前年同期に比べ1,104億円の増）

【連結決算の概要】

(単位：億円)

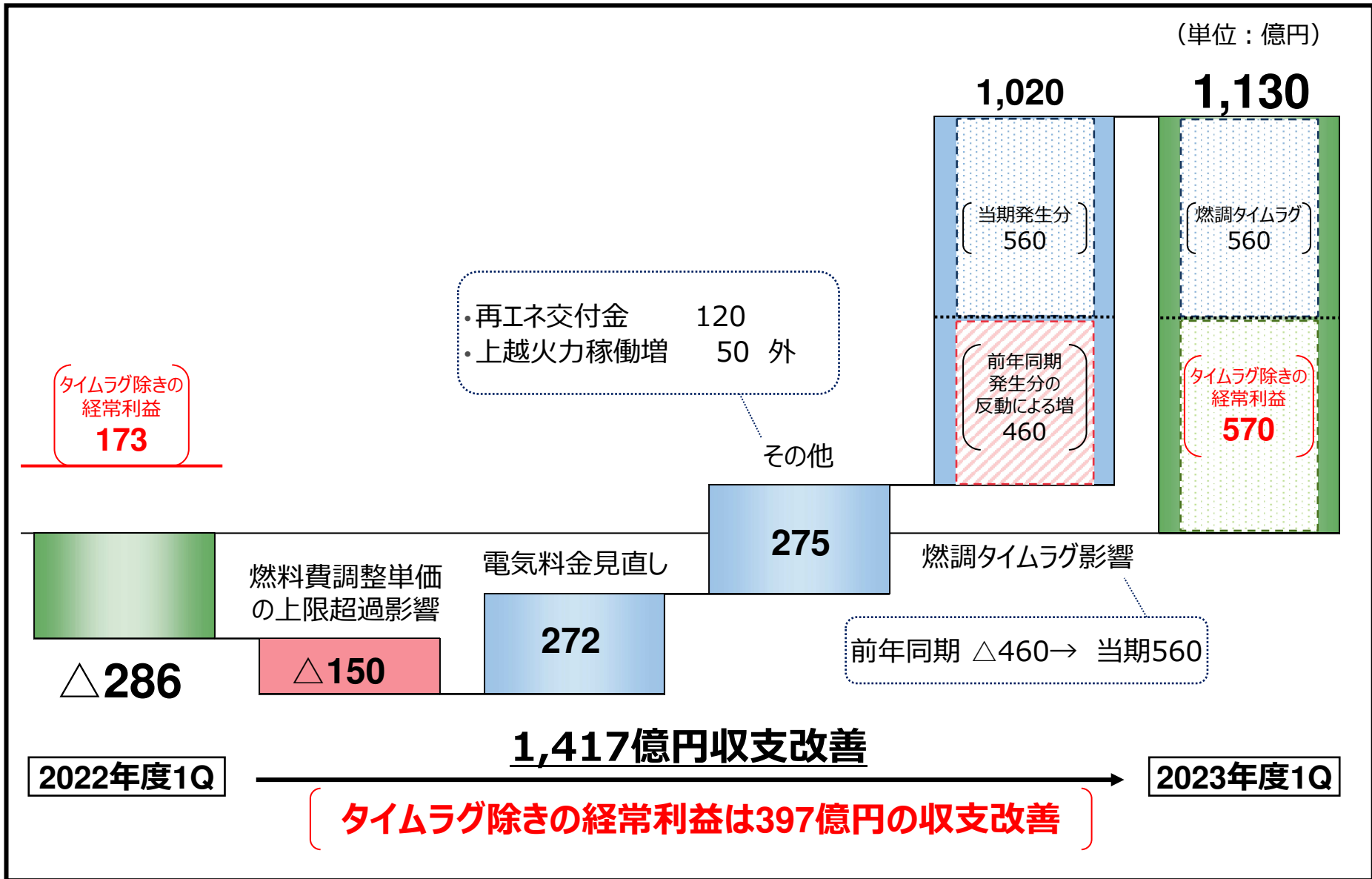
	2022年度1Q (A)	2023年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高	5,582	6,335	752	113.5 %
経常利益 ^{※1}	△ 286 [173]	1,130 [570]	1,417 [397]	— [328.5 %]
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 312	791	1,104	—
連結キャッシュ利益 ^{※2}	676	1,073	397	158.8 %

※1 []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

※2 連結キャッシュ利益 = 営業利益 + 減価償却費 + 核燃料減損額 + 持分法投資損益（営業利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除く）

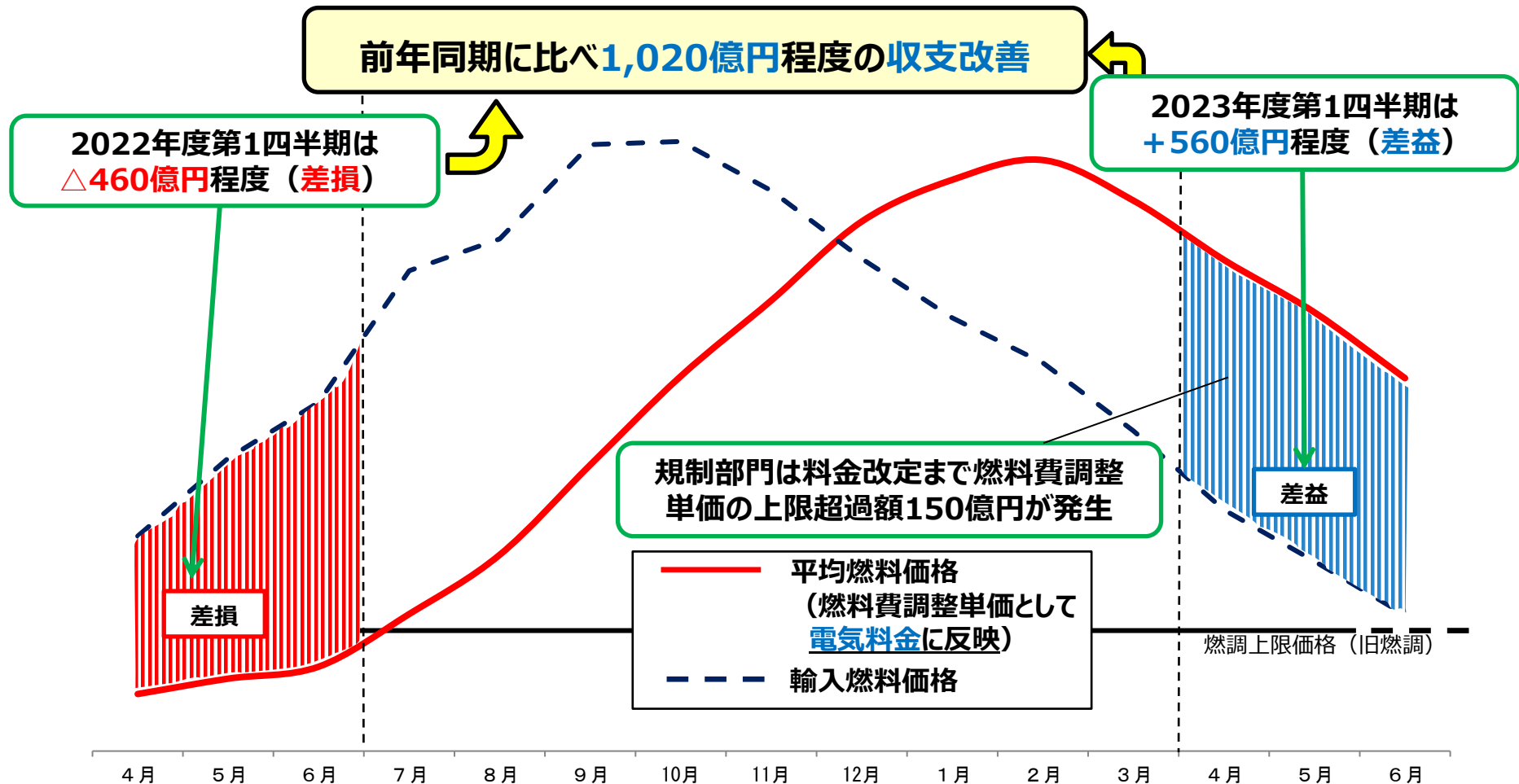
連結経常利益の前年同期からの変動要因

変動額 1,417億円 (△286億円→1,130億円)



(参考) 燃料費調整制度のタイムラグ影響

- 前年同期の燃料費調整額のタイムラグ影響はマイナス460億円（差損）だったのに対し、当期はプラス560億円（差益）となり、差引で**プラス1,020億円**の収支改善となった。
- 低圧規制料金メニューの燃料費調整単価が上限を超過した影響により、当期において**回収不能となった収入は150億円**である。



電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **145億kWh (前年同期に比べ9億kWhの減)**

…暖房需要の減少、節電や産業用における稼動減など。

➤ **卸売** **22億kWh (前年同期に比べ9億kWhの減)**

…エリア外への卸売の減など。

【電力販売実績】

(単位：百万kWh)

【販売実績】※1	2022年度1Q (A)	2023年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電 灯	4,542	4,105	△ 437	90.4 %
電 力	10,838	10,353	△ 485	95.5 %
小 売 ※2 計	15,380	14,458	△ 922	94.0 %
卸 売 ※3	3,038	2,180	△ 858	71.8 %
販 売 計	18,418	16,639	△ 1,779	90.3 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2022年度1Q (A)	2023年度1Q (B)	増減 (B) - (A)
原油C I F価格 (\$ / b b l)	110.8	84.0	△ 26.8
為 替 レ ー ト (円 / \$)	130	137	7
出 水 率 (%)	108.9	83.5	△ 25.4
原子力設備利用率 (%)	-	-	-

セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2022年度1Q (A)		2023年度1Q (B)		増 減 (B) - (A)		主な増減要因
	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	
発電・販売	4,322	△ 245	5,197	1,075	874	1,320	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費調整額の増加により増収 電気料金見直しなどにより増収 燃料調達価格および卸電力取引市場の価格低下による電力調達コストの大幅な低下により増益
	3,957		4,961		1,003		
送配電	2,160	98	1,853	131	△ 307	33	<ul style="list-style-type: none"> 春先の高気温影響および産業動向などによるエリア需要の減少により減収 調整力調達費用に対する交付金の増加により増益
	1,071		802		△ 269		
建設	503	△ 18	537	△ 17	33	1	<ul style="list-style-type: none"> 一般向け電気設備工事や配電・送電工事の増加などにより増収、損失幅は縮小
	290		300		10		
その他	511	38	574	53	63	15	<ul style="list-style-type: none"> ガス事業における販売単価の上昇などにより増収増益
	263		271		8		
小計	7,498	△ 128	8,163	1,242	665	1,370	
調整額	△ 1,915	△ 158	△ 1,827	△ 111	87	46	
連結値	5,582	△ 286	6,335	1,130	752	1,417	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

財政状態（連結）

7

(単位：億円)

	2022年度末 (A)	2023年度1Q末 (B)	増減 (B) - (A)	主な増減内容
総資産	52,119	51,218	△ 900	
固定資産	40,051	40,233	181	
流動資産	12,067	10,985	△ 1,082	現金及び預金 △1,669 外
負債	45,808	44,035	△ 1,772	
固定負債	34,673	34,670	△ 3	
流動負債	11,134	9,365	△ 1,768	未払金・未払費用 △875 買掛金 △648 外
純資産	6,310	7,183	872	親会社株主に帰属する四半期純利益 791 外
有利子負債残高	33,756	33,618	△ 138	社債 △450、長期借入金 178 外
自己資本比率	10.5% (13.2%※)	12.4% (15.2%※)	1.9% (2.0%)	

※ 発行済のハイブリッド社債のうち、発行額の50%(1,400億円)を自己資本とした場合の自己資本比率

2023年度 業績予想 (1)

➤売上高 3兆200億円 (前年度実績に比べ128億円の増)

…電気料金見直しによる小売収入の増、市場単価低下に伴う卸売収入の減など。

➤経常利益 2,000億円 (前年度実績に比べ3,992億円の増)

…電気料金見直しによる小売収入の増、効率化の実施、燃料費調整制度のタイムラグ影響など。

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	2022年度実績 (A)	2023年度見通し (B)	増 減 (B) - (A)
売上高	30,072	30,200	128
営業利益	△ 1,800	2,200	4,000
経常利益	△ 1,992 [△762]	2,000 [1,320]	3,992 [2,082]
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,275	1,400	2,675
連結キャッシュ利益	1,366	3,400	2,034

■ 主要諸元

	2022年度実績	2023年度見通し
販売電力量 ※ (億 kWh)	小 売	659
	卸 売	159
	合 計	818
原油CIF価格 (\$/bbl)	102.7	87 程度
為替レート (円/\$)	136	142 程度
原子力設備利用率 (%)	-	1 程度

■ 収支変動影響額

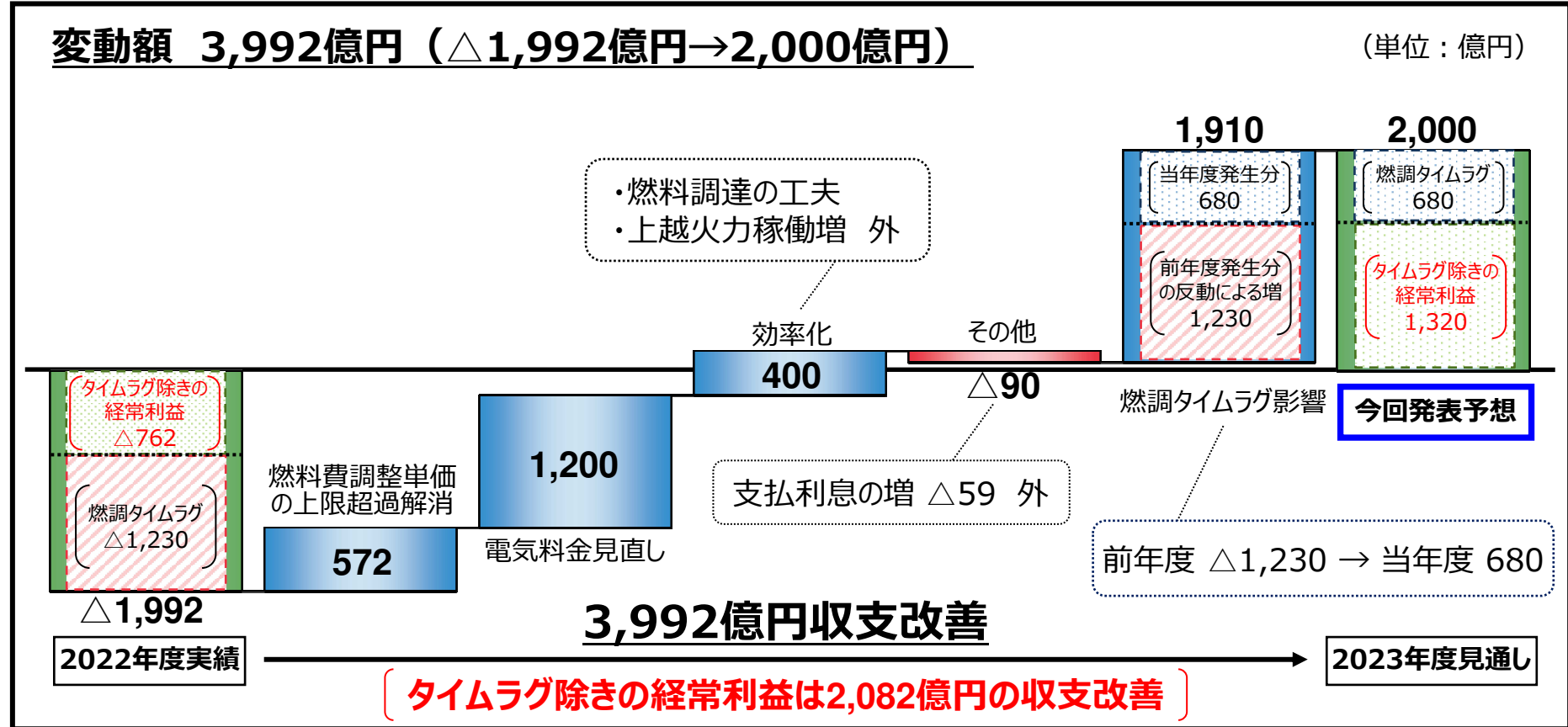
(単位：億円)

原油CIF価格(1\$/bbl)	27 程度
為替レート(1円/\$)	44 程度

※ 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

2023年度 業績予想 (2)

連結経常利益の変動要因 (前年度実績との比較)



2023年度 配当予想

2023年度配当予想につきましては、今回公表した業績予想を踏まえ、「中間5円」・「期末10円」とさせていただきます。

(単位：円)

	中間	期末	年間
2023年度 (予想)	5	10	15
2022年度実績	0	0	0

2023年度 業績予想 (3)

